



校長だより

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠



池田小児童殺傷事件から20年

昨日、不審者の侵入を想定した避難訓練を実施しました。コロナ感染防止策の徹底を最優先し、教室とオープンスペースを仕切る中壁をはずしてある、全児童が1か所に集合するような場面は設定しないようにしている等の状況下、子供たち全員の安全の確保のために、学校として最大限何ができるのかを改めて点検し直すよい機会となりました。

最悪、命を失いかねないのは、コロナも不審者侵入も同じこと。コロナを用心するあまり、不審者侵入対応策に隙が生じないように、万全を期して参ります。

私から子供たちには、リモートを通して次のような話をしました。

真剣に訓練をしている様子、大変立派でした。

ところで、本校でも、突然不審者が校内に入ってきて、人を襲ったりすることが起こるのでしょうか？

あってはならないことですが、そういうことも起きるかもしれません。みなさんもそう思っているからこそ、今日のような真剣な訓練態度だったのだと思います。大変立派でした。いつも、最悪こんなことになるかもしれないと思って行動できることこそ、自分の命を自分で守れることにつながります。

さて、大阪の小学校で、いきなり刃物をもって入ってきた男に8名の児童が次々に刺され亡くなった事件からちょうど20年経ちます。20年経っても、大切な命を奪われた悲しみは決して癒えることはありません、当時現場にいた子供たちも立派な社会人になっています。今なお、心に深い傷を負いながらも、亡くなった友達の分まで、精一杯生きようと自分に言い聞かせながら、過ごしている毎日だそうです。

犠牲になられた方々に心からご冥福をお祈りいたします。そして、「自分の命を自分で守る」「人の命も自分が守る」ためにすべきことに日々真剣に取り組むことを改めて誓う今日の日にしましょう。



不審者役の職員を取り押さえる職員
(不審者侵入避難訓練の様子)

広島ガス辺りの県道に白線を引き直していただきました。塩谷バス停辺りも近々白線を引き直していただくことになっています。



神田神社から小林医院に通じる市道の標識は、現在は仮に紙での表示ですが、近々正式な表示板が設置されるとのことです。

